

# 入居者に寄り添う未来の私たち ～生産性向上とウェルビーイングの好循環～

社会福祉法人 寿光会 盲養護老人ホーム 光明荘

主任生活相談員 角田紀子



盲養護老人ホーム  
光明荘



# 施設紹介

長崎県唯一

盲養護老人ホーム  
光明荘

# ICT導入の背景

入居者の高齢化

100歳以上が2名  
90歳以上が17名

要介助者の増加

# ICT導入の背景

入居者の高齢化

100歳以上が2名  
90歳以上が17名

要介助者の増加

①人的負担の増大  
介護・看護の身体・精神的負担増

# ICT導入の背景

入居者の高齢化

100歳以上が2名  
90歳以上が17名

要介助者の増加

①人的負担の増大  
介護・看護の身体・精神的負担増

②施設環境の課題  
広い施設、コール対応機器不足

# ICT導入の背景

入居者の高齢化

100歳以上が2名  
90歳以上が17名

要介助者の増加

①人的負担の増大  
介護・看護の身体・精神的負担増

②施設環境の課題  
広い施設、コール対応機器不足

③記録業務の非効率化  
手書き記録、重複転記

# ICT導入の背景

入居者の高齢化

100歳以上が2名  
90歳以上が17名

要介助者の増加

動

# ICT導入の背景

入居者の高齢化

100歳以上が2名  
90歳以上が17名

要介助者の増加

④言葉づかいの課題  
言葉づかいの問題、口調が荒くなる



# ICT導入の背景

入居者の高齢化

100歳以上が2名  
90歳以上が17名

要介助者の増加

④言葉づかいの課題  
言葉づかいの問題、口調が荒くなる

⑤視覚障害者入居者への配慮不足  
大声での呼びかけ、驚かせてしまう言動

# ICT導入の背景

入居者の高齢化

100歳以上が2名  
90歳以上が17名

要介助者の増加

④言葉づかいの課題  
言葉づかいの問題、口調が荒くなる

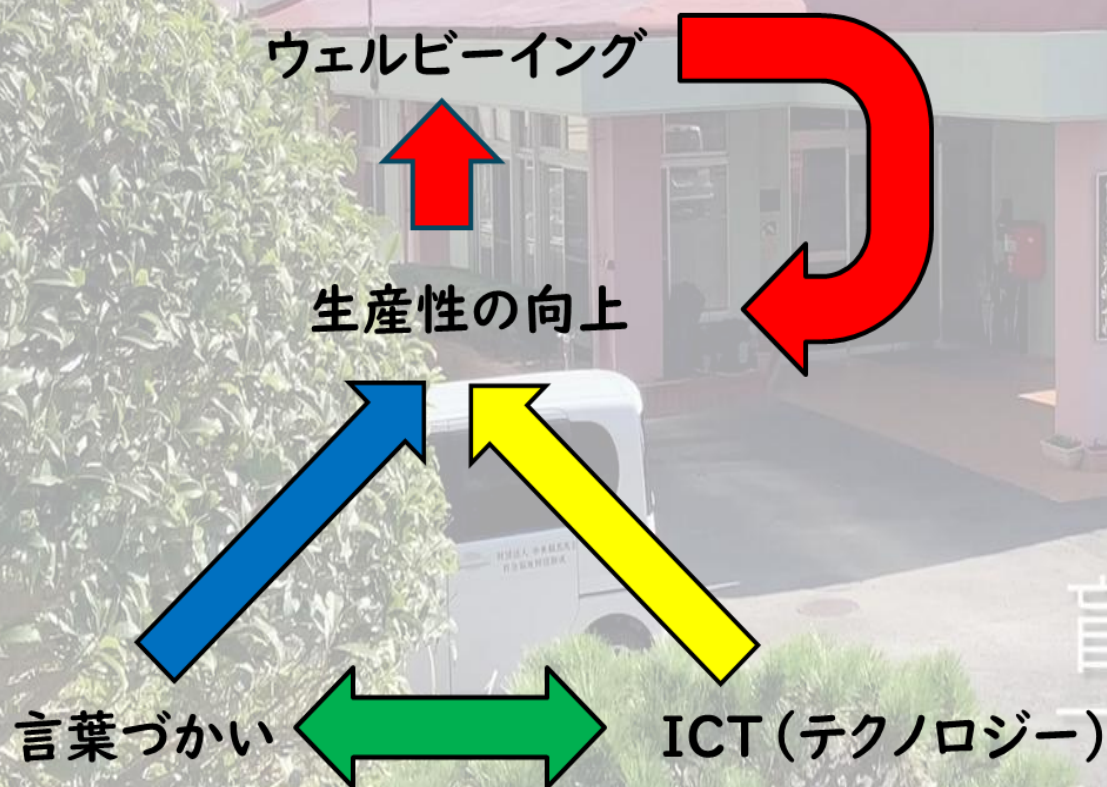
⑤視覚障害者入居者への配慮不足  
大声での呼びかけ、驚かせてしまう言動

⑥職員の孤立感  
アナログ業務に業界から取り残されている感覚

## 仮説

言葉づかいの改善 + テクノロジー導入 = 生産性が上がる

- 入居者のウェルビーイングは向上するのではないか？
- ウェルビーイングが向上すればさらに生産性があがるのではないか？



ウェルビーイングとは、  
身体的、精神的、社会的  
に良好な状態にあること  
を指し、単なる健康状態  
の良さだけでなく、持続  
的な幸福感や生きがい  
を含む概念です。  
世界保健機関 (WHO)  
の憲章で「健康」の定義  
として用いられた。

光明荘

# ICTを活用した生産性向上と言葉づかいによる生産性の向上

## 盲養護老人ホーム 光明荘事業計画

テーマ	光明荘行動指針『心に暖かい光を届けます』
方針	1.言葉を大切にします。
	2.研修を充実します。
	3.DXを更に推進します。

言葉づかいによる生産性の向上		
盲養護老人ホーム 光明荘事業計画		
言葉づかい	計画	行動
	言葉づかいの基準作成	支援員・看護主任を中心に作成
	自己評価と目標設定	基準を基に全職員自己評価を実施、個人目標を設定し取り組む
	相互評価の実施	基準による自己評価と個人目標相互評価を実施しギャップを知る
	計画の評価と修正	職員、入居者の声（効果）を検証し、今後の活用方法を検討

ICTを活用した生産性向上		
盲養護老人ホーム 光明荘事業計画		
DX推進	計画	行動
	各チームでの主体的な取り組み	記録、ナースコール、インカムなどの3チームリーダーを中心とした主体的な取り組み
	データ収集（蓄積）	定点、新しい取り組み時の職員へのアンケート実施と集計
	効果検証	取り組みの内容、データを分析し生産性向上の効果検証を実施
	ながさき介護現場サポートセンターとの連携	助言をいただながら、一緒にDXを推進していく



言葉づかいによる生産性の向上

## 盲養護老人ホーム 光明荘事業計画

### 言葉づかい

計画	行動
言葉づかいの基準作成	支援員・看護主任を中心に作成
自己評価と目標設定	基準を基に全職員自己評価を実施、個人目標を設定し取り組む
相互評価の実施	基準による自己評価と個人目標相互評価を実施しギャップを知る
計画の評価と修正	職員、入居者の声（効果）を検証し、今後の活用方法を検討

光明荘

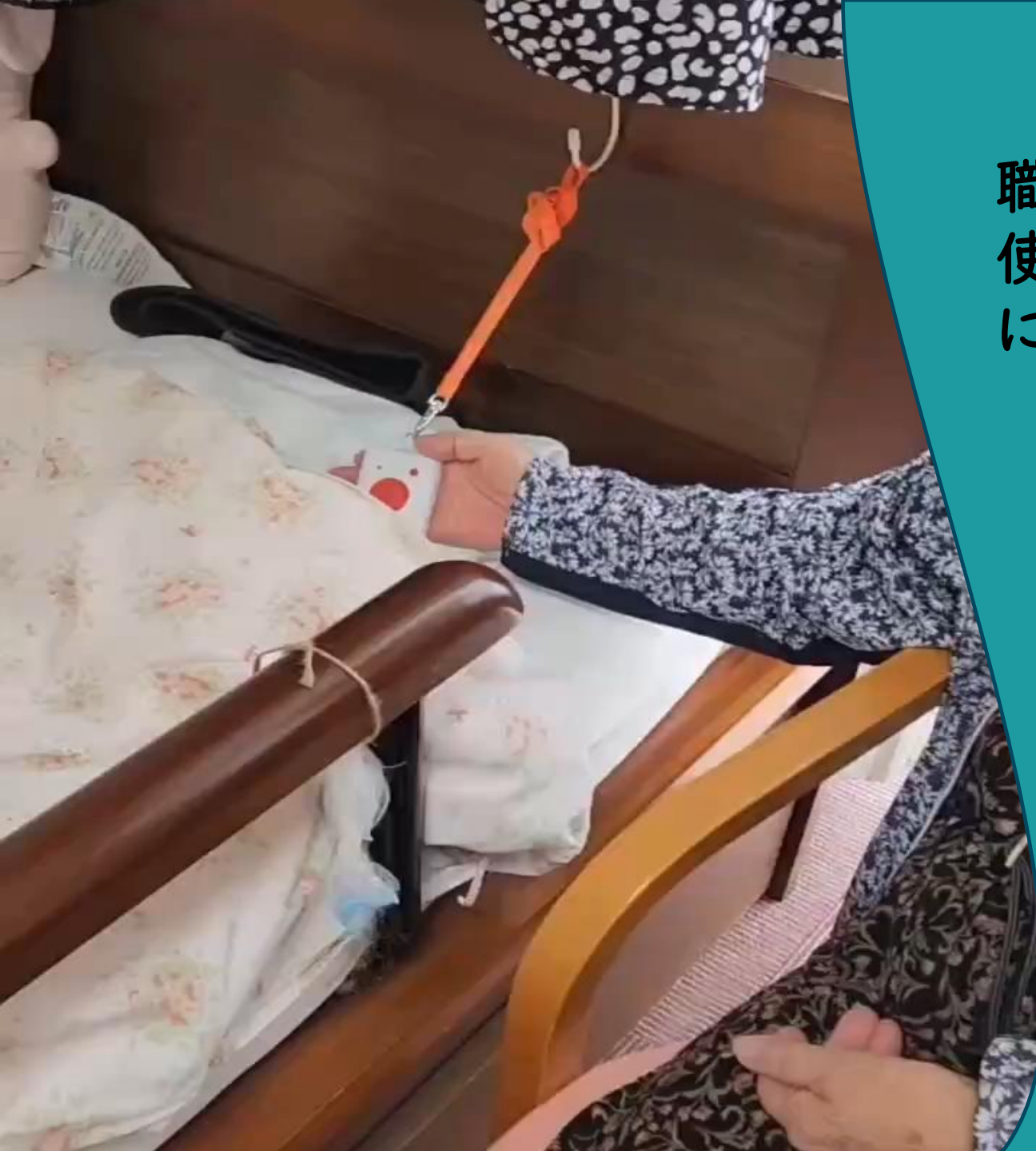
## ICTを活用した生産性向上

### 盲養護老人ホーム 光明荘事業計画

#### DX推進

計画	行動
各チームでの主体的な取り組み	記録、ナースコール、インカムの3チームリーダーを中心とした主体的な取り組み
データ収集（蓄積）	定点、新しい取り組み時の職員へのアンケート実施と集計
効果検証	取り組みの内容、データを分析し生産性向上の効果検証を実施
ながさき介護現場サポートセンターとの連携	助言をいただきながら、一緒になってDXを推進していく

職員がインカムを  
使ってナースコール  
に対応しています。





録音・録画機能付  
ナースコール

ココヘルパVP

by GCOMM





録音・録画機能付  
ナースコール

ココヘルパVP

by GCOMM



夜間見守りソフト

ココヘルパVP

by GCOMM



骨伝導型  
スマートインカム

by GCOMM



iPhone

by ニューズドテック





# ほのぼのNEXT

by NDソフトウェア  
絆データシステム



# Care Palette

by NDソフトウェア



# Bluetooth 通信対応機器

by NDソフトウェア

パルスオキシメーター 体温計 血圧計



# Bluetooth 通信対応機器

データ転送

by NDソフトウェア





すべてをつなぐ  
Wi-Fi環境

by トラコム





シングル  
プラットフォーム



録音・録画機能付  
ナースコール

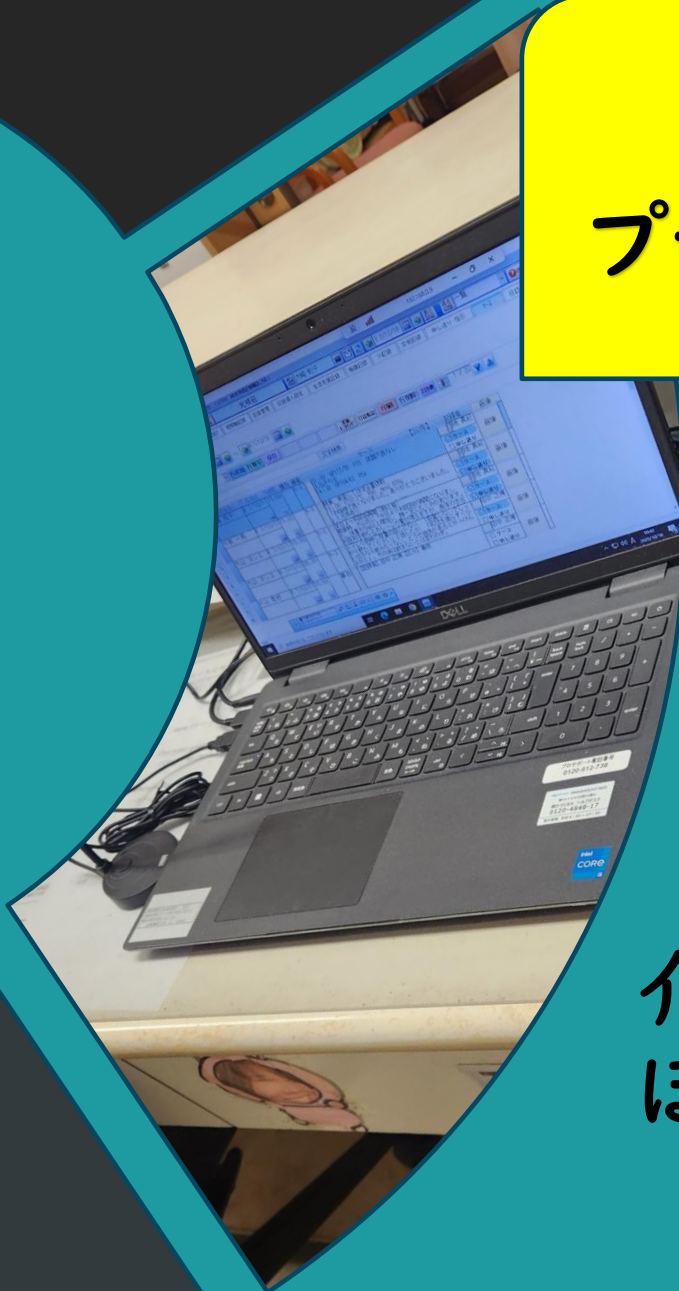
# シングル プラットフォーム



骨伝導スマート  
インカム



シングル  
プラットフォーム



介護ソフト  
ほのぼのNEXT





シングル  
プラットフォーム



夜間巡回アプリ  
タブレット



# シングル プラットフォーム



Bluetooth通信対応型  
体温計  
パルスオキシメーター  
血圧計

# シングル プラットフォーム



Care Palette  
↑↓ 連動  
ほのぼNEXT



録音・録画機能付ナースコール

録音・録画機能の  
活用

by GCOMM





全盲入居者  
ベッドからの  
転落事故

ご本人は、床で  
お昼寝をして  
いると勘違い

起き上がり



録音・録画機能の活用

全盲入居者  
ベッドからの  
転落事故

ベッドの上を  
歩きだす



録音・録画機能の活用

全盲入居者  
ベッドからの  
転落事故

床へ転落



録音・録画機能の活用

録音・録画機能付  
ナースコール

暗視機能搭載!

映像による検証  
明確な対策

by GCOMM





M

S

P

I

E

ICT導入の取り組み



# 動機付け

動機付け研修会：全職員参加

テクノロジーはなぜ必要か？

講師：ながさき介護現場さサポートセンター

その他、関連研修

講師：施設職員（アクセシビリティ研修会）



# S

システム

## 体制づくり

介護DX推進事業  
プロジェクトチーム発足

職員全員が構成メンバー

★記録ソフト

★ナースコール

★インカム・iPhone

★眠りSCAN



P

プラン

## 計画

各チームリーダー主体で  
各機器の導入計画検討

導入機器の研究会を随時実施

- ★記録ソフト
- ★ナースコール
- ★インカム・iPhone



# 実施 ステップ1

R6.11月～  
キックオフミーティング  
各機器導入までのスケジュール  
&ミーティング

インプリメント

- ながさき介護現場サポートセンター
- ジーコム
- 絆データシステム
- ニューズドテック

## 実施 ステップ2

インフルエンザ感染対策より  
R6.12月～インカム活用始動

インプリメント

インカム&iPhoneのみ  
職員の連携用として活用

# 実施 ステップ3

R7.1/8～ナースコール 始動

設置完了後、研修を実施  
全職員が研修を受ける体制  
入居者様・ご家族様同意書



新ナースコールへ移行  
当時は、従来コールと併用  
(R7.7月～呼びかけ機能付へ)

インプリメント

## 実施 ステップ4

R7.1/16～Care Palette 導入へ

同法人へ情報収集する中で、  
Care Palette導入を決定

従来のバイタル測定時間を計測



研修会実施



導入へ

インプリメント



## 実施 ステップ6

R7.8月～夜間見守り巡回アプリ

夜間見守り巡回アプリによる  
巡回実施

見守りカメラで見て欲しくない  
方へはモザイクをかけた対応

■  
インプリメント

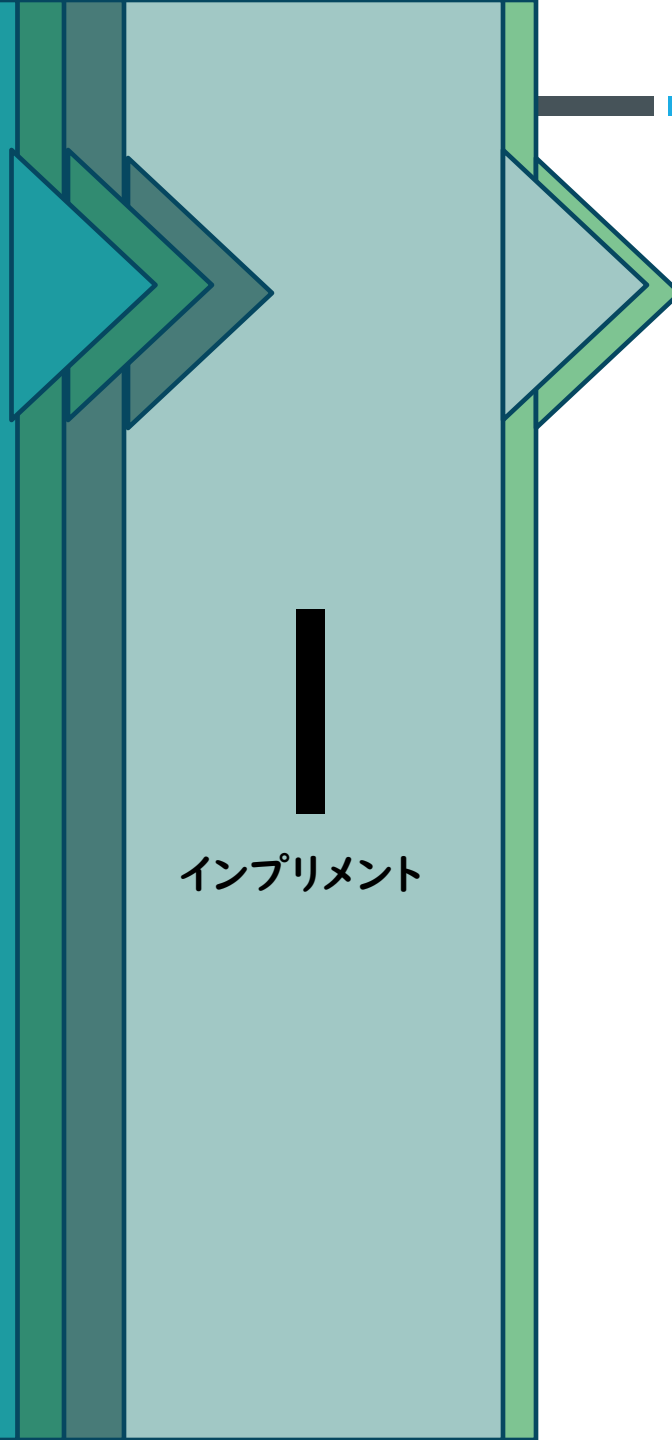
# 実施 ステップ5

R7.9/1～ほのぼの始動

インカム、ナースコール、  
CarePalette導入と並行して  
ほのぼの導入準備実施

導入ミーティング  
運用スケジュール  
各部署の日誌について検討

インプリメント



## 実施 ステップ7

R7.10月中旬～

ほのぼの×5ライセンス、  
CarePalette×11ライセンス  
増設予定

日誌の廃止意向決定！

—  
インプリメント



# 評価

# E

エヴァリュエーション

インカム・ココヘルパ  
ほのぼのNEXT  
導入効果測定

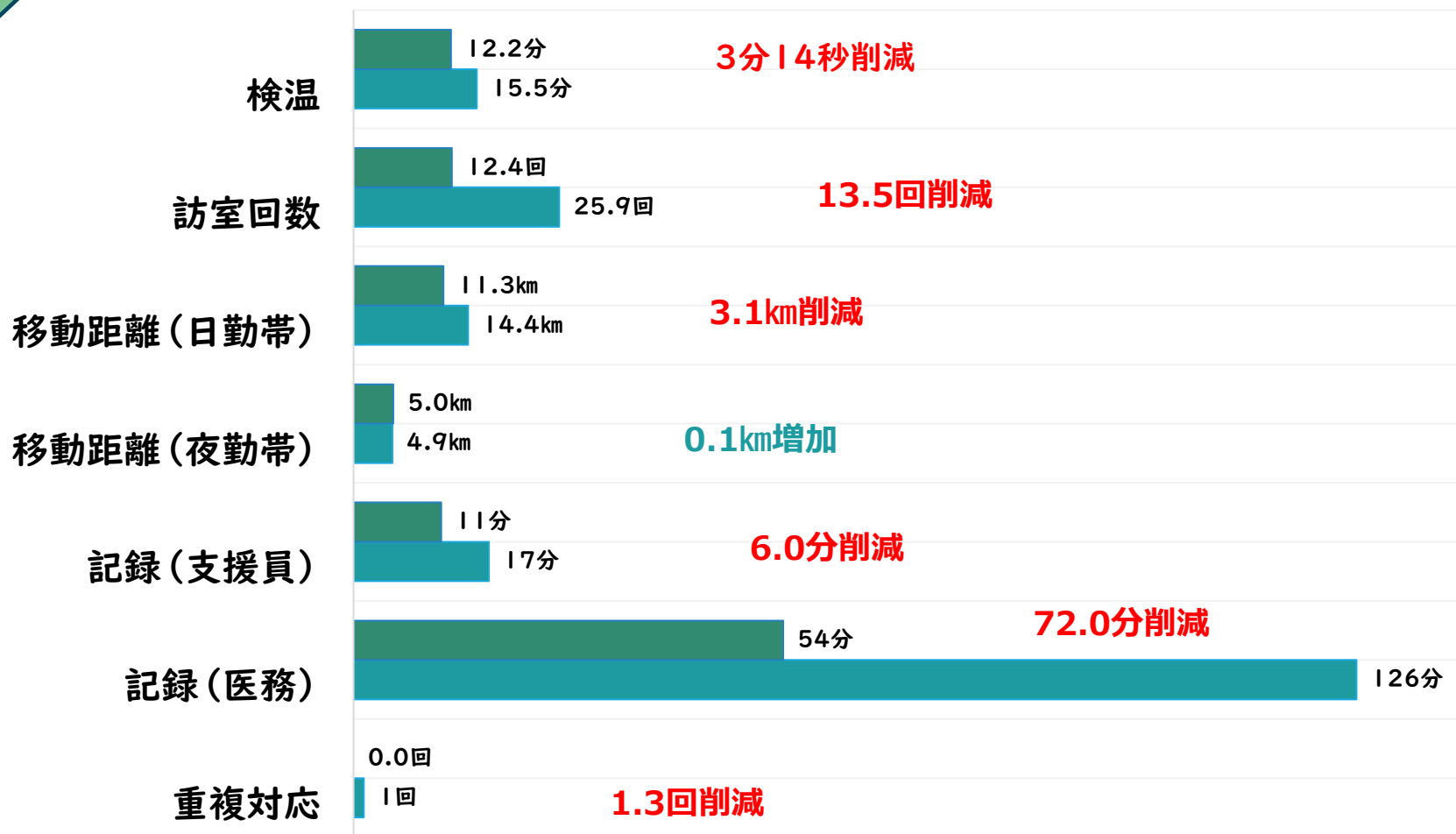


# 評価

インカム・ココヘルパ・ほのぼの導入

## 効果測定

■ 導入後（平均） ■ 導入前（平均）



# 言葉づかいの取り組み

## 自己評価・個人目標

光明荘 言葉使いについての自己評価及び個人目標

言葉使いのスローガン	
1	笑顔が見えるように言葉に表情をつけて話します
2	尊敬と感謝の気持ちを持って話します
3	慌てず、騒がず、穏やかに感情をコントロールして話します
4	聞き上手・褒め上手分かり易い言葉を使います
5	職員同士適切な礼儀と思いやりをもって話します

言葉づかいのスローガン

番号	職員に対するチェックリスト	点数
1	相手を見て笑顔で挨拶出来ている	
2	入居者の前で私語をしていない	
3	相手を「〇〇君」「〇〇ちゃん」と呼んでいない	
4	人を馬鹿にする内容や悪口を言っていない	
5	感情がコントロールできずに無言になっていない	
6	同僚を一方的に責めたり、強い口調で威圧していない	
7	年齢・役職に関わらず適切な礼儀をもって話している	
8	相手の立場にたって思いやりのある言葉で話している	
9	役職を付けて呼んでいる	
10	相手の意見を尊重し否定的な言葉使いを避けている	
11	丁寧な言葉使い「です」「ます」調を基本としている	
12	不適切な言葉使いを聞いた時は注意または報告している	
合 計 点 数		

職員に対するチェックリスト

1.相手を見て笑顔で挨拶できている  
2.入居者の前で私語をしていない

できている項目番号	
できていない項目番号	
【チェックリストを自己評価して感じたこと】	

これから半年間の目標
------------

【点数の基準】		できている3点	普通2点	できていない1点
番号	入居者に対するチェックリスト			
1	正しい敬語の使い分けが出来ている（尊敬語・謙譲語・			
2	馴れ馴れしいタメ口を使っていない			
3	赤ちゃん言葉・幼児言葉を使っていない			
4	だ名や呼び捨てをしていない			
5	から日頃の言葉使いになっていない			
6	前者が理解できない若者言葉や専門用語を使っている			
7	元気よく大きな声ではっきり話している			
8	視覚障害者であっても目録の高さを合わせている			
9	挨拶は入居者より先にしている			
10	イライラせず余裕をもって話をしている			
11	「はい」「いいえ」ができていない			
12	「ください」を乱用していない			
13	「すみません」「ごめんなさい」を乱用していない			
14	「さう」「さあ」を多用していない			
15	「ええ」「ううん」を多用していない			
16	「さう」「さあ」「ええ」「ううん」を多用していない			
17	入居者の家族とため口になって話していない			
合 計 点 数				
できている項目番号				
できていない項目番号				
【チェックリストを自己評価して感じたこと】				

# 言葉づかいの取り組み

## 自己評価・個人目標

自己評価及び個人目標	
ローガン	
つけて話します	
ます	
コントロールして話します	
席を起します	
もって話します	
チェックリスト	点数
と呼んでいない	
いていない	
になっていない	
で威圧していない	
をもって話している	
言葉で話している	
を避けている	
を基本としている	
または報告している	
放	
【こと】	
初の日	

【点数の基準】できている3点 普通2点 できていない1点		
番号	入居者に対するチェックリスト	点数
1	正しい敬語の使い分けが出来ている（尊敬語・謙譲語・丁寧語）	
2	馴れ馴れしいタメ口を使っていない	
3	赤ちゃん言葉・幼児言葉を使っていない	
4	あだ名や呼び捨てをしていない	
5	上から目線の言葉使いになっていない	
6	高齢者が理解できない若者言葉や専門用語を使っていない	
7	元気よく大きな声ではっきり話している	
8	視覚障害者であっても目線の高さを合わせている	
9	挨拶は入居者より先にしている	
10	イライラせず余裕をもって話している	
11	後ろから声掛けをして驚かせていない	
12	最初に自分の名前を名乗ってから話ができていない	
13	命令口調で威圧的な言葉使いになっていない	
14	「待ってください」「座ってください」を	
15	相手が言った事を直ぐに否定せず気持ちを	
16	「です」「ます」等語尾を省略せずに話せる	
17	入居者の家族とため口になって話していない	
合 計 点 数		
できている項目番号		
できていない項目番号		
【チェックリストを自己評価して感じたこと】		

## 点数の基準

できている	3点
普通	2点
できていない	1点

## 入居者に対するチェックリスト

8.視覚障害者であっても目線の高さを合わせている

11.後ろから声掛けをして驚かせていない

## 自己評価して感じたこと

目標を達成するために具体的に取り組むこと	
1	
2	
3	
4	
5	
【記入要項】	
1. 言葉使いのローガンを確認してください。	
2. チェックリスト項目ごとに点数をつけてください。	
3. 普通2点、できていない1点として記入してください。	
4. できている項目、できていない項目に番号を記入	
5. 上記1～5を踏まえて自己評価して感じたことを記	
6. これから半年間の個人目標を簡単に設定してください	
7. 記入内容は主任以上の閲覧とし秘密厳守とします	
職 種	氏 名

# 言葉づかいの取り組み

# 自己評估・個人目標

できている1点	点数
スト	
語・謙譲語・丁寧語)	
を使っている	
ている	
ている	
い	
利用していない	
読み取って話している	
いる	
い	

目標を達成するために具体的にに取り組むこと

1	
2	
3	
4	
5	

**【記入要項】**

1. 言葉使いのスローガンを確認してください。
2. チェック項目ごとに点数をつけください。
3. 点数は、できている3点、普通2点、できていない1点です。
4. 点数をつけたら合計点を記入してください。
5. できている項目欄、できていない項目欄に番号を記入してください。
6. 上記1～5を踏まえて自己評価して感じたことを記入してください。
7. これから半年間の個人目標を簡潔に設定してください。
8. 具体的にに取り組むことを分かりやすく、簡潔に記入してください。
9. 取り組み内容は最低3つ～多くても5つまで設定してください。
10. チェックリスト、目標、取り組むことは半年後に再評価します。
11. チェックリストは、半年後に他者評価（相互評価）を実施します。
12. 職種・氏名を記入し5月 日までに町田主任に提出して下さい。
13. 記入内容は主任以上の閲覧とし秘密厳守とします。

職 種 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

## これから半年間の目標

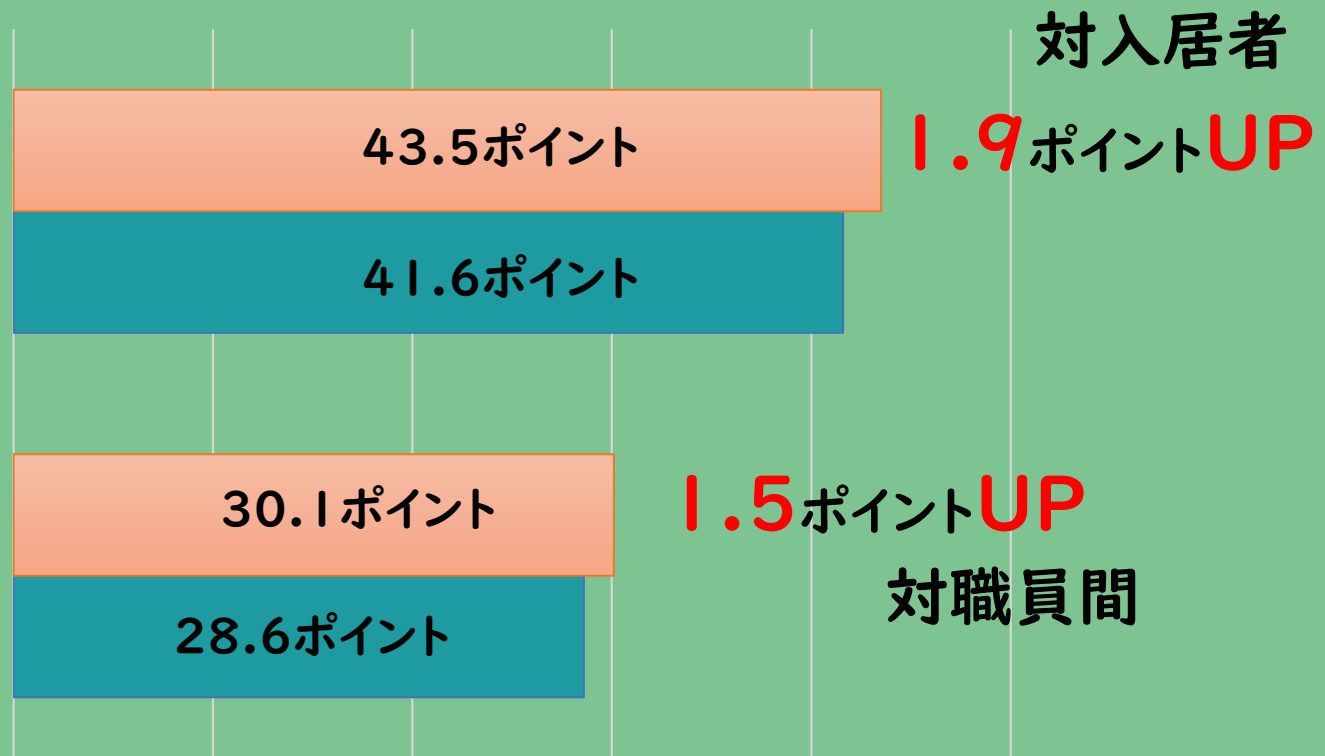
## 目標を達成するために具体的にに取り組む

## 記入要項

# 言葉づかいの取り組み

自己評価・個人目標

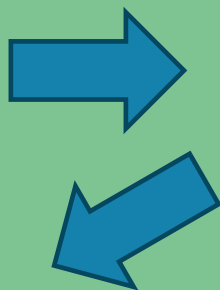
■ 導入後（平均）  
■ 導入前（平均）



効果測定



自己評価・個人目標



相互評価へ

生産性が向上する

対入居者・職員間の  
言葉づかいが良くなる

言葉づかいの取り組み

パソコン操作が  
苦手で、前向きに  
なれない💧

便利だな～

必要なことなんだ！  
頑張ろう！

日々の業務  
が優先

リーダーと勤務  
が合わないから  
話し合えない

先に進まない！  
リスクばかり💧💧



成果とアンケート

# ICT導入についての意識調査

(インカム 記録用ソフト 見守り支援機器)

・調査対象者

全職員: 35名

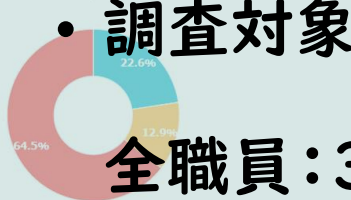
回答者: 31名 → 29名 (出向職員1名)

無料版30名限定のため、人数減少

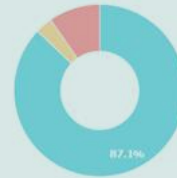
・調査手段: LINE WORKS アンケート

・調査項目: 12項目

・スマホやパソコン等の機器の操作は好きですか? (31)



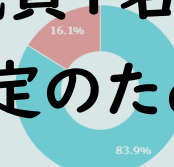
・インカムは業務上必要だと思いますか? (31)



・インカム 導入で考えられる効果とは? (31)



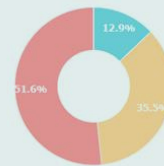
・記録ソフトは業務上必要だと思いますか? (31)



・記録ソフト 導入で考えられる効果とは? (31)



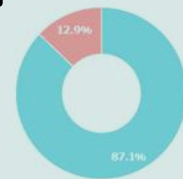
・見守り支援機器 導入で考えられる効果とは? (31)



・必要がある

・必要がない

・わからない



職員アンケート

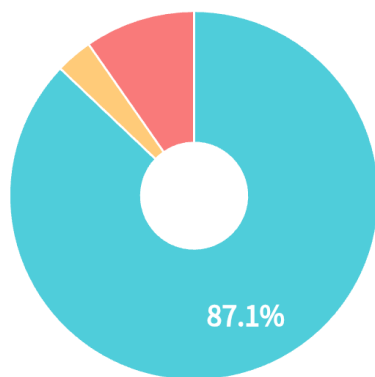




# 成果とアンケート

\* インカムは業務上必要と思いますか？

回答 31 \* 未回答 0

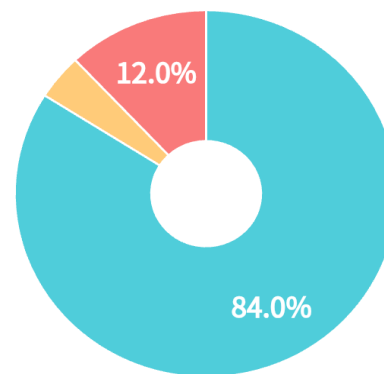


選択肢順 ▼

必要がある	27 (87.1%)
必要がない	1 (3.2%)
わからない	3 (9.7%)

\* インカムは業務上、必要と思いますか？

回答 25 \* 未回答 0



選択肢順 ▼

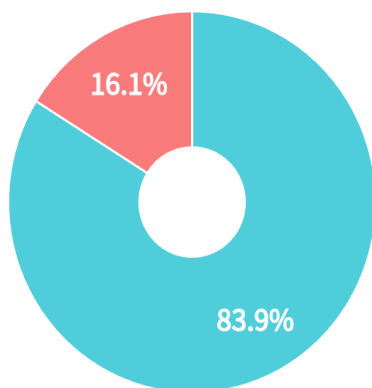
必要がある	21 (84.0%)
必要がない	1 (4.0%)
わからない	3 (12.0%)



# 成果とアンケート

\* 記録ソフトは業務上必要があると思いますか？

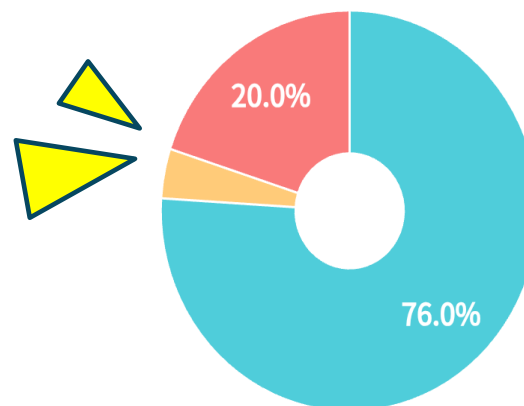
回答 31 \* 未回答 0



選択肢順 ▼

● 必要がある	26 (83.9%)
● 必要がない	0
● わからない	5 (16.1%)

\* 回答 25 \* 未回答 0



選択肢順 ▼

● 必要がある	19 (76.0%)
● 必要がない	1 (4.0%)
● わからない	5 (20.0%)

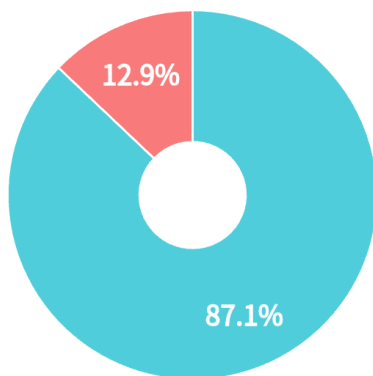




# 成果とアンケート

\* 見守り支援機器は業務上必要があると思いますか？

回答 31 \* 未回答 0



選択肢順 ▼

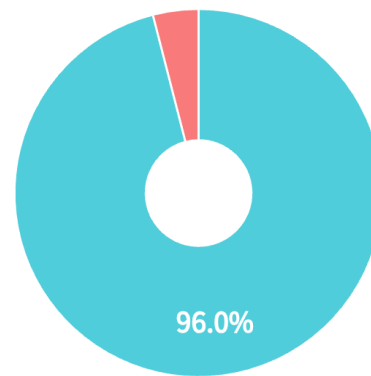
● 必要がある 27 (87.1%)

● 必要がない 0

● わからない 4 (12.9%)

\* 見守り支援機器は業務上必要があると思いますか？

回答 25 \* 未回答 0



選択肢順 ▼

● 必要がある 24 (96.0%)

● 必要がない 0

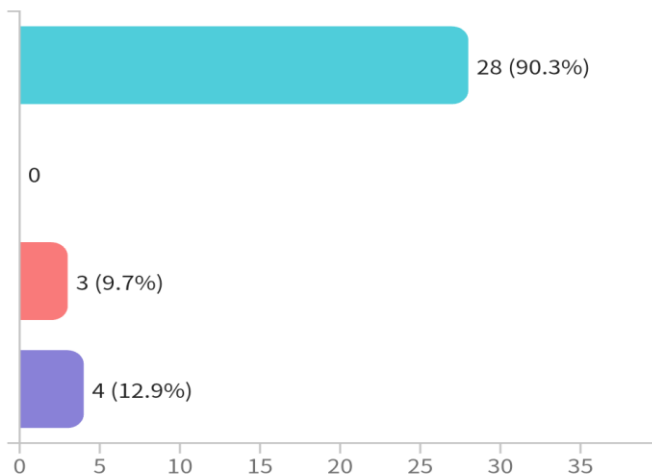
● わからない 1 (4.0%)



# 成果とアンケート

## \* インカム 記録ソフト 見守り支援機器の導入の必要性

回答 31 \* 未回答 0

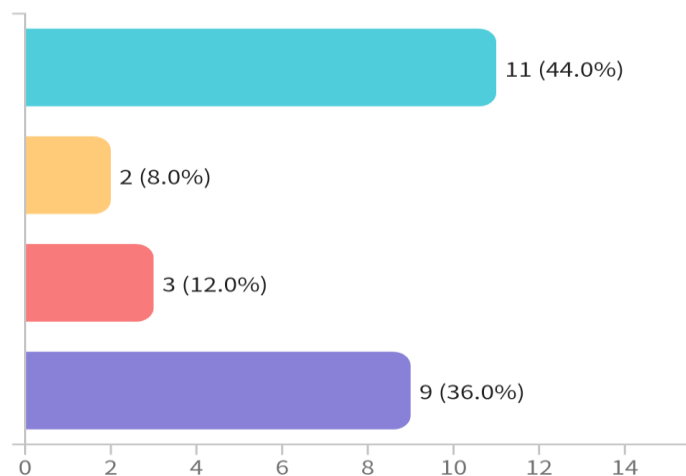


選択肢順 ▼

期待する	28 (90.3%)
期待しない	0
不安	3 (9.7%)
その他	4 (12.9%)

## \* インカム 記録ソフト 見守り支援機器の必要性

回答 25 \* 未回答 0



選択肢順 ▼

期待どおり	11 (44.0%)
期待はずれ	2 (8.0%)
不安	3 (12.0%)
その他	9 (36.0%)



# 成果とアンケート

## 職員アンケート

SRS-18アンケート集計結果 ②

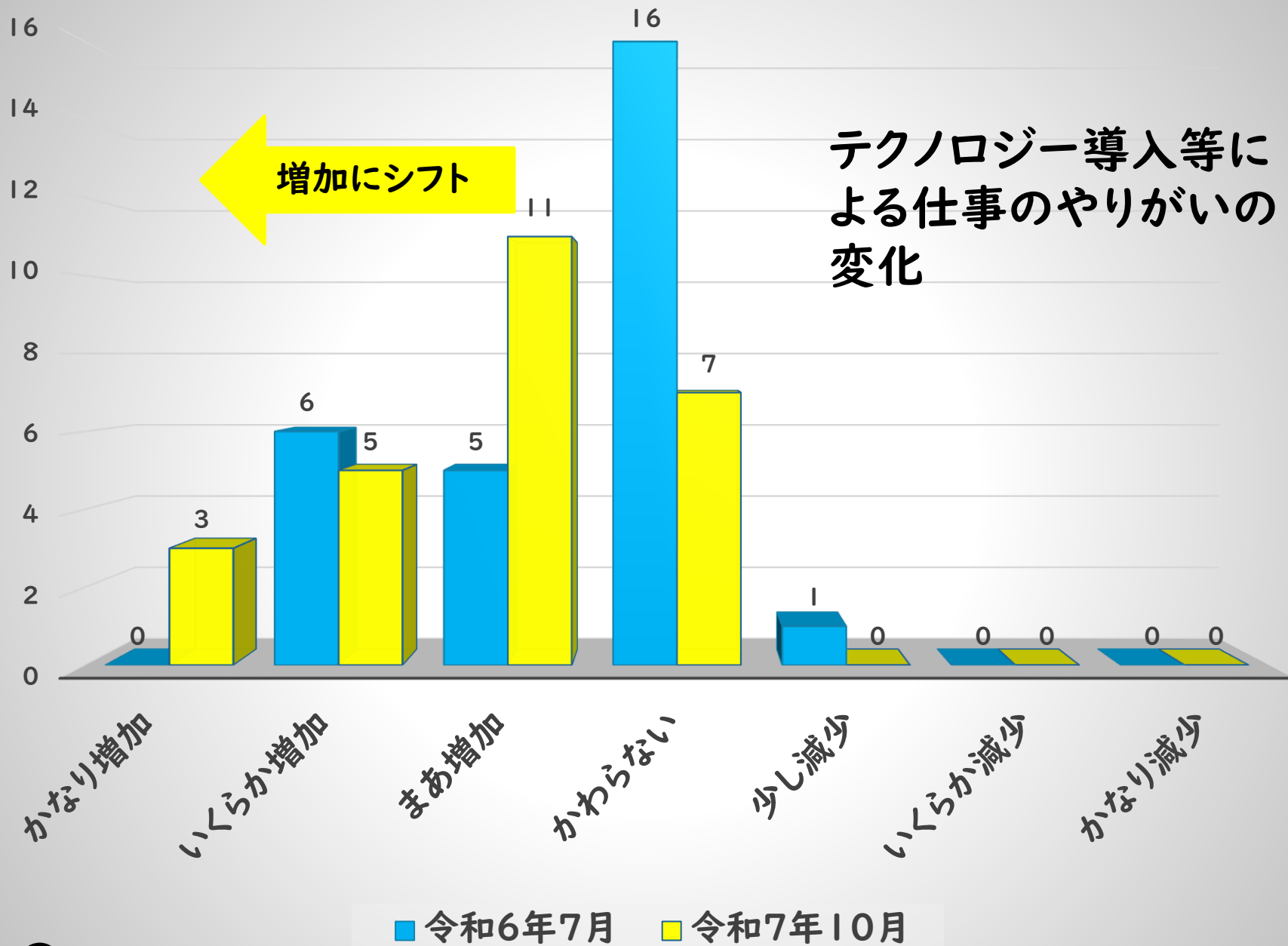
2025年7月



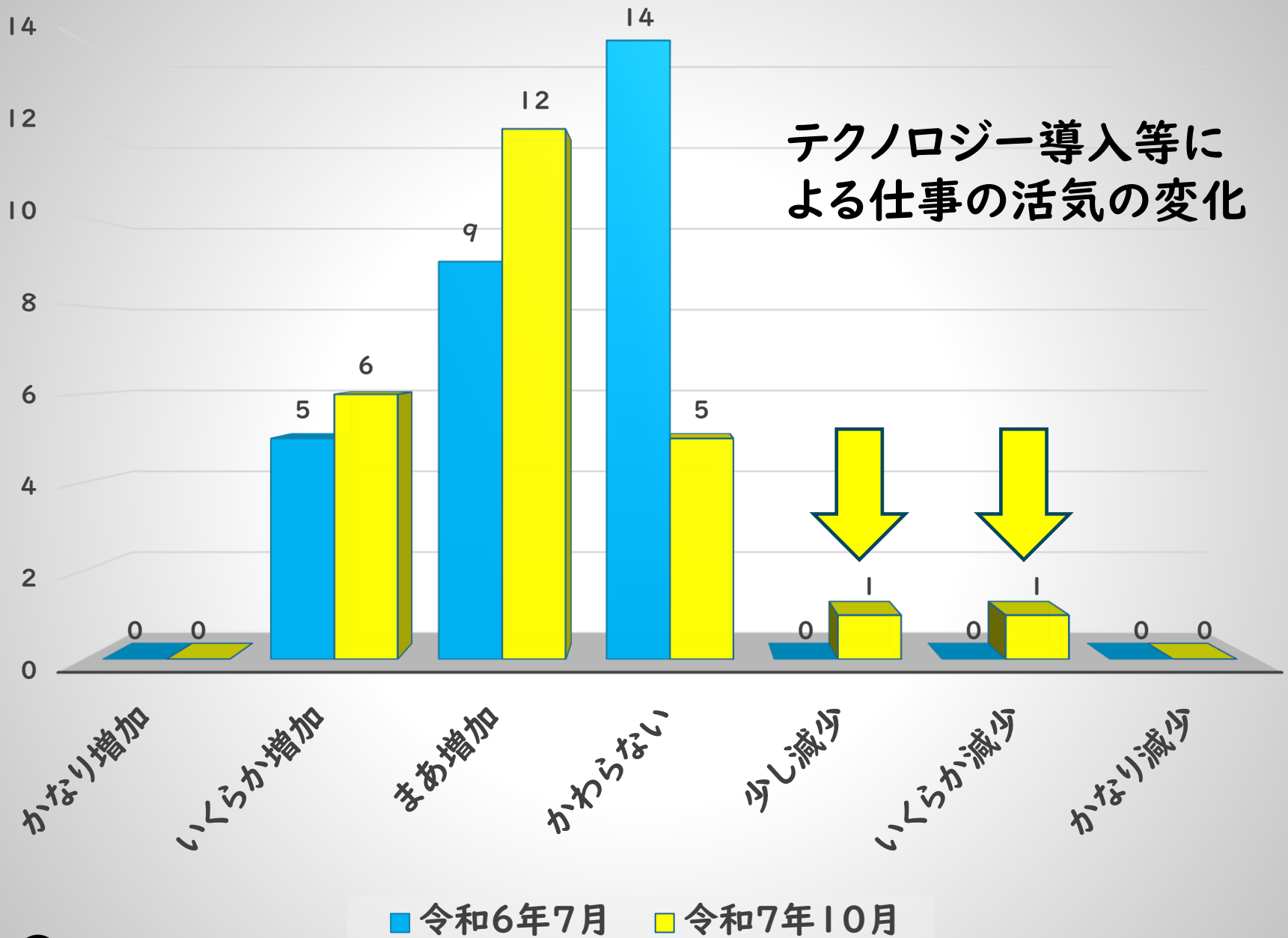
### 3. テクノロジーの導入等によるモチベーションの変化

※ この設問では、テクノロジーの導入等の前後のモチベーションの変化についてお伺いします。

		←減少したと感じる							増加したと感じる→	
1	テクノロジー導入等による、仕事のやりがいの変化	-3	-2	-1	0	1	2	3	点数	
	人数 人	0	0	1	16	5	6	0	16	
2	テクノロジー導入等による、職場の活気の変化	-3	-2	-1	0	1	2	3	点数	
	人数 人	0	0	0	14	9	5	0	19	



## テクノロジー導入等による仕事の活気の変化







# 入居者アンケート

## 利用者向け調査票

WHO-5 スケール

対象利用者におけるQOLの変化

令和7年5月実施

※点数： いつも＝5点    ほとんどいつも＝4点    半分以上＝3点    半分以下＝2点    たまに＝1点    全く＝0点

最近2週間、利用者の状態に最も近いものに○をつけてください	いつも	ほとんどいつも	半分以上の期間を	半分以下の期間を	ほんのたまに	まったくない	合計(人)	平均点	2段階評価 ポジティブ(%)
1 明るく、楽しい気分で過ごした	9	7	9	8	1	0	34	3.44	73.5%
2 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした	9	6	13	6	0	0	34	3.53	82.4%
3 意欲的で、活動的に過ごした	5	5	9	10	3	2	34	2.79	55.9%
4 ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた	12	6	6	6	4	0	34	3.47	70.6%
5 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった	9	4	9	6	3	3	34	3.03	64.7%

対象利用者におけるQOLの変化

令和7年10月実施

※点数： いつも＝5点    ほとんどいつも＝4点    半分以上＝3点    半分以下＝2点    たまに＝1点    全く＝0点

最近2週間、利用者の状態に最も近いものに○をつけてください	いつも	ほとんどいつも	半分以上の期間を	半分以下の期間を	ほんのたまに	まったくない	合計(人)	平均点	2段階評価 ポジティブ(%)
1 明るく、楽しい気分で過ごした	10	4	16	1	3	0	34	3.50	88.2%
2 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした	10	11	11	2	0	0	34	3.85	94.1%
3 意欲的で、活動的に過ごした	7	7	10	7	2	1	34	3.21	70.6%
4 ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた	15	6	5	6	2	0	34	3.76	76.5%
5 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった	3	4	14	6	7	0	34	2.71	61.8%
5 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった	6	6	15	3	2	2	34	3.15	79.4%

WHO-5スケールは、国際的に認知されたウェルビーイング評価指標であり、介護現場における支援の質や生活の実感を定量的に捉えるツールとして活用されています。また、令和6年度介護報酬改定において「生産性向上推進体制加算」の評価指標の一つとして位置づけられています。

も=4点 半分以上=3点 半分以上=2点 たまに=1点 全く=0点

てください	いつも	ほとんど いつも	半分以上 の期間を	半分以上 の期間を	ほんの たまに	まったく ない	合計 (人)	平均点	2段階評価 ポジティブ(%)
	9	7	9	8	1	0	34	3.44	73.5%
た	9	6	13	6	0	0	34	3.53	82.4%
	5	5	9	10	3	2	34	2.79	55.9%
	12	6	6	6	4	0	34	3.47	70.6%
さんあった	9	4	9	6	3	3	34	3.03	64.7%

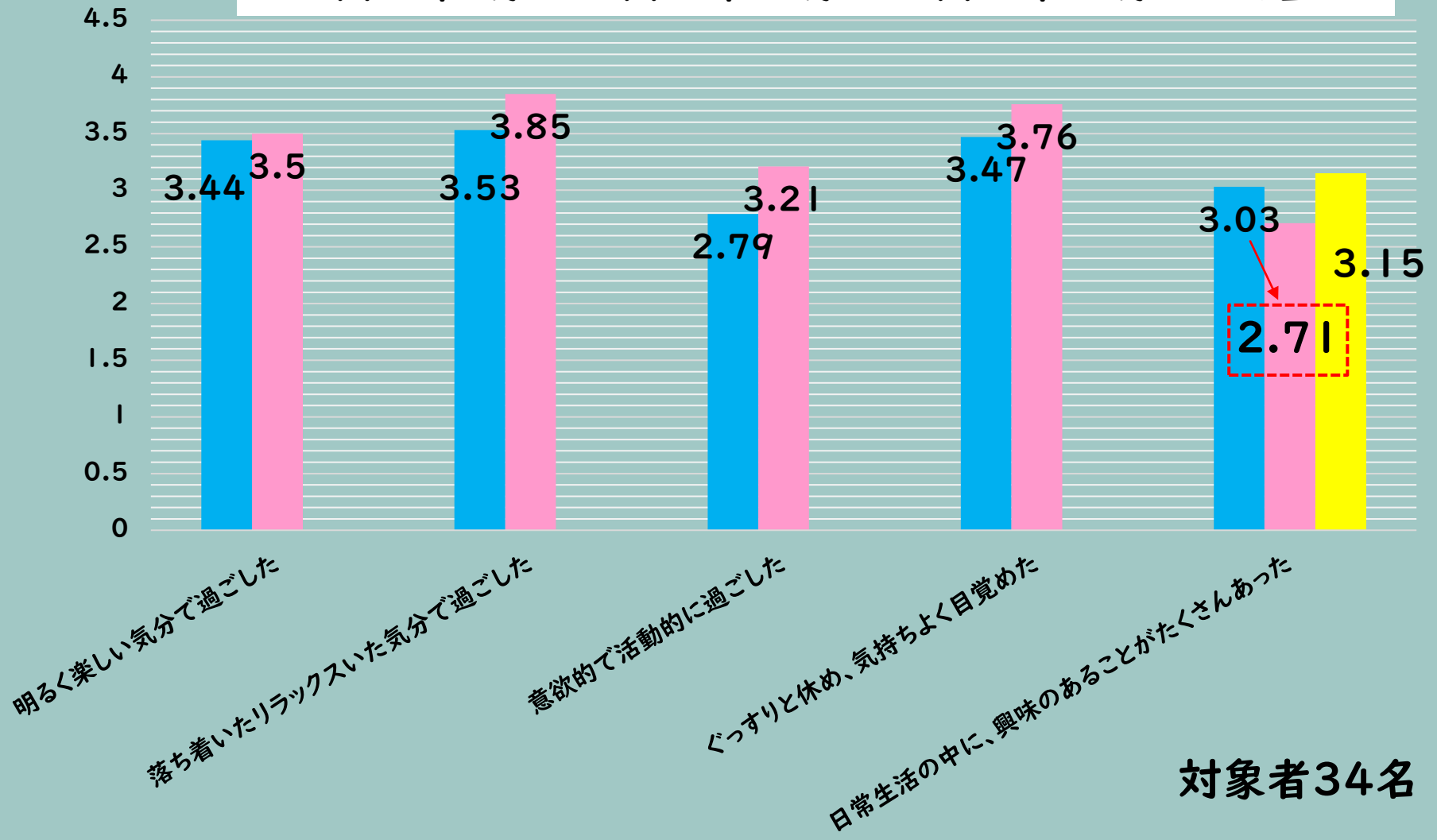
令和7年10月実施

も=4点 半分以上=3点 半分以上=2点 たまに=1点 全く=0点

てください	いつも	ほとんど いつも	半分以上 の期間を	半分以上 の期間を	ほんの たまに	まったく ない	合計 (人)	平均点	2段階評価 ポジティブ(%)
	10	4	16	1	3	0	34	3.50	88.2%
た	10	11	11	2	0	0	34	3.85	94.1%
	7	7	10	7	2	1	34	3.21	70.6%
	15	6	5	6	2	0	34	3.76	76.5%
さんあった	3	4	14	6	7	0	34	2.71	61.8%
さんあった	6	6	15	3	2	2	34	3.15	79.4%

## 対象入居者におけるQOLの変化（入居者向け調査）

■ 令和7年5月    ■ 令和7年10月    ■ 令和7年10月イベント翌日

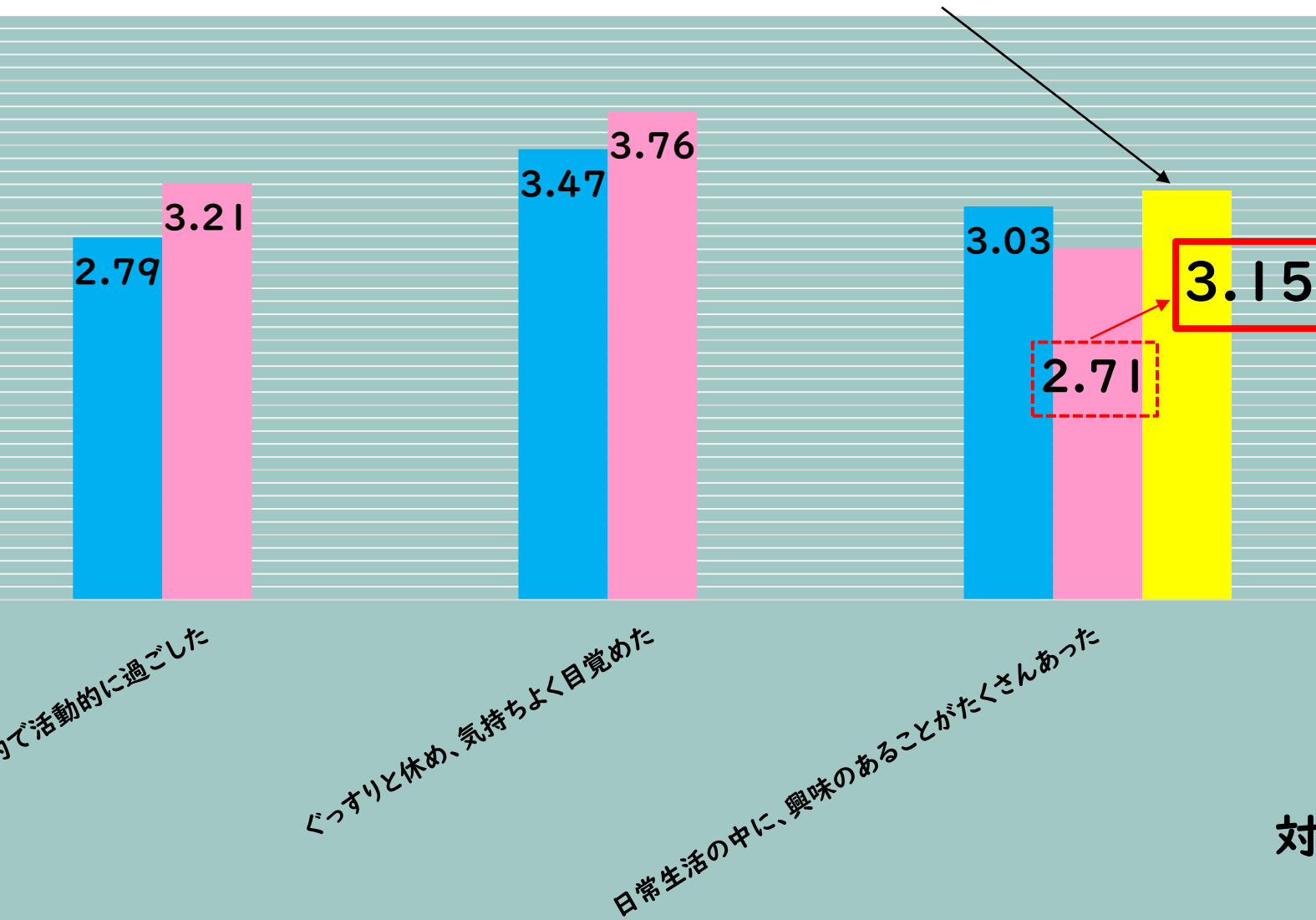


対象者34名

## 対象入居者におけるQOLの変化（入居者向け調査）

■ 令和7年10月

■ 令和7年10月イベント翌日



対象者34名



# 入居者アンケート

## 利用者向け調査票

WHO-5 スケール

対象利用者におけるQOLの変化

令和7年5月実施

※点数： いつも＝5点    ほとんどいつも＝4点    半分以上＝3点    半分以下＝2点    たまに＝1点    全く＝0点

最近2週間、利用者の状態に最も近いものに○をつけてください	いつも	ほとんどいつも	半分以上の期間を	半分以下の期間を	ほんのたまに	まったく	合計 (人)	平均点	2段階評価 ポジティブ(%)
1 明るく、楽しい気分で過ごした	9	7	9	8	1	0	34	3.44	73.5%
2 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした	9	6	13	6	0	0	34	3.53	82.4%
3 意欲的で、活動的に過ごした	5	5	9	10	3	2	34	2.79	55.9%
4 ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた	12	6	6	6	4	0	34	3.47	70.6%
5 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった	9	4	9	6	3	3	34	3.03	64.7%

対象利用者におけるQOLの変化

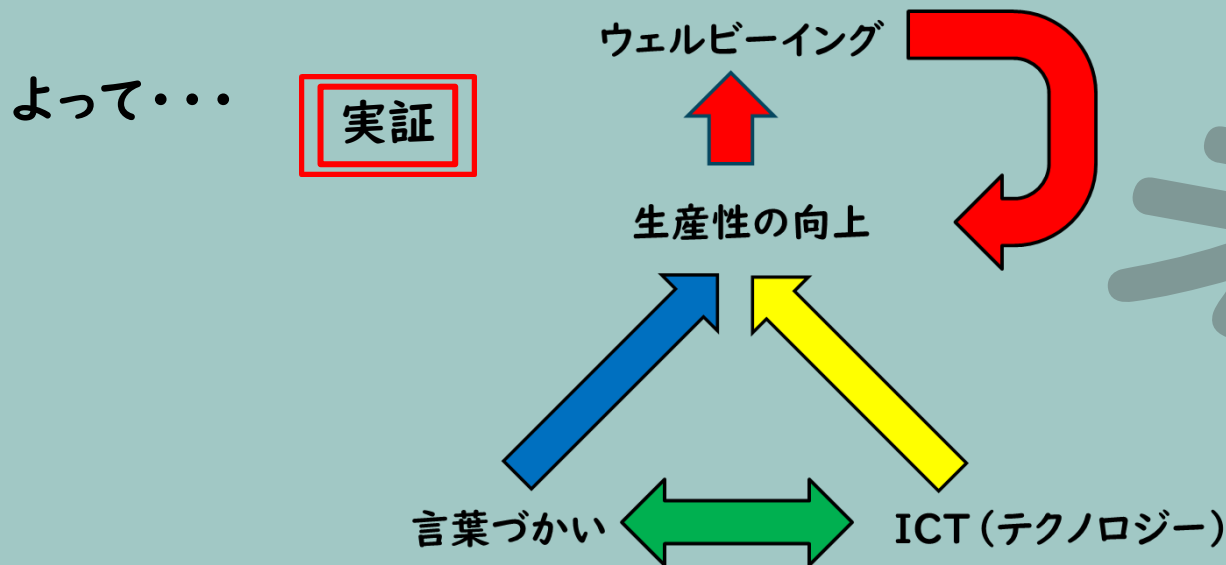
令和7年10月実施

※点数： いつも＝5点    ほとんどいつも＝4点    半分以上＝3点    半分以下＝2点    たまに＝1点    全く＝0点

最近2週間、利用者の状態に最も近いものに○をつけてください	いつも	ほとんどいつも	半分以上の期間を	半分以下の期間を	ほんのたまに	まったく	合計 (人)	平均点	2段階評価 ポジティブ(%)
1 明るく、楽しい気分で過ごした	10	4	16	1	3	0	34	3.50	88.2%
2 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした	10	11	11	2	0	0	34	3.85	94.1%
3 意欲的で、活動的に過ごした	7	7	10	7	2	1	34	3.21	70.6%
4 ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた	15	6	5	6	2	0	34	3.76	76.5%
5 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった	3	4	14	6	7	0	34	2.71	61.8%
5 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった	6	6	15	3	2	2	34	3.15	79.4%

WHO-5スケールは、国際的に認知されたウェルビーイング評価指標であり、介護現場における支援の質や生活の実感を定量的に捉えるツールとして活用されています。また、令和6年度介護報酬改定において「生産性向上推進体制加算」の評価指標の一つとして位置づけられています。

- ICT導入により生産性が向上し、職員の心のゆとりが生まれた
- 言葉づかいの取り組みによる職員の意識の変化があった
- 入居者におけるQOLの変化調査でポジティブな感情に変化が生まれた



言葉づかい+ICT導入=生産性を向上=ウェルビーイングの向上

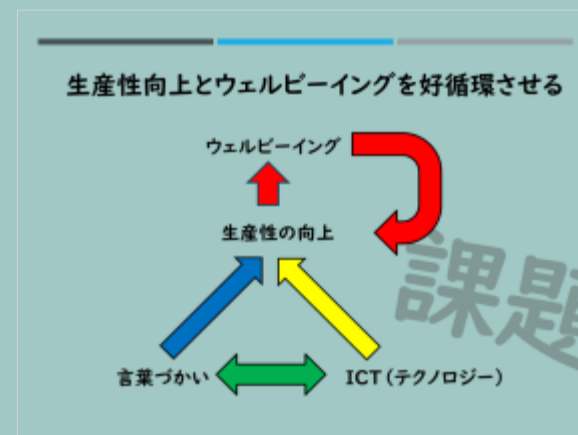


- 言葉も機器も道具に過ぎない⇒使いこなすかは職員しだい
- 言葉づかい・ICT機器を使いこなす&整備継続
- 使う職員の意識のずれ⇒改革が必要

⇒「職員研修委員会（事業計画）」の促進

- アンケートの実施による効果測定継続
- 生産性向上により得た時間の効果測定&時間の有効利用方法を検討
- 日誌の廃止
- 音声入力による記録

更なる  
生産性の向上



# 生産性向上とウェルビーイングを好循環させる

